

日本産業精神保健学会・日本ストレス学会共催
国際学際交流シンポジウム
「これからの職場のメンタルヘルス対策を考える」

近年の労働者を取り巻く社会経済状況は、大きく変化しています。産業構造の変化、働き方の変化、情報技術の進歩に伴う仕事と私生活との境界の不明確化、少子高齢化、共働き世帯の増加など枚挙にいとまがありません。こうした変化を受け、職場のメンタルヘルス活動においても、メンタルヘルス不調への対応やその予防にとどまらず、個人や組織の活性化を視野に入れた対策を行うことが、広い意味での労働者の「こころの健康」を支援するうえで重要になってきました。本シンポジウムでは、韓国産業ストレス学会理事長のChae先生と、わが国の職場のメンタルヘルス、職場の活性化の第一線でご活躍されている先生方をお招きし、これからの職場のメンタルヘルス対策を考えたいと思います。

○日時：2013年7月20日（土） 13時00分～17時00分（12時30分開場）

○場所：東京大学医学部（本郷キャンパス）鉄門記念講堂（教育研究棟14階）

http://www.m.u-tokyo.ac.jp/information/map_hongoarea.html

○プログラム

1) 基調講演（13:10-14:20）逐次通訳つき

座長 黒木宣夫（日本産業精神保健学会副理事長

東邦大学医学部精神神経医学講座（佐倉）教授）

「Character Strength Based Positive Intervention for Job Stress」

Jeong-ho Chae（韓国産業ストレス学会理事長 韓国カトリック大学精神科教授）

2) パネルディスカッション（14:30-17:00）

「これからの職場のメンタルヘルス対策を考える：ストレス対策から活性化対策へ」

座長 高野知樹（神田東クリニック院長・MPSセンター長）

島津明人（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野准教授）

話題提供者

健康いきいき職場と新職業性ストレス簡易調査票のねらい

小田切優子（東京医科大学公衆衛生学講座講師）

キャリア開発に注目した職場のメンタルヘルス

大庭さよ（神田東クリニック MPSセンター産業精神保健研究所副センター長）

社員キラキラ☆UP運動による職場の活性化

北原央（株式会社日立システムズ人事総務本部副本部長）

「価値を認める問い」で組織を変える

北居 明（大阪府立大学経済学部教授）

○後援：日本産業ストレス学会（予定）、日本心理学会産業保健心理学研究会

○申込方法：WEB ページ（<http://goo.gl/Dnojm>）より必要事項を入力下さい（先着 250 名）。

○参加費：日本産業精神保健学会会員・日本ストレス学会会員：無料

非会員：2,000 円（当日受付にて徴収させていただきます）

○事務局：東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 島津明人

文京区本郷 7-3-1 FAX：03-5841-3392 E-mail：jsomh.jass@gmail.com